



## ● ロータリーを生成発展させたもの

—— ロータリー理解推進月間に当たり

第 2590 地区パストガバナー

**中山 義之** (横浜南)

ロータリー・クラブは、ポール・ハリスが3人の友人と語らって4人で発足しました。1905年2月23日のことです。仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたいという願望からでした。その後百年の歳月を経て、今では世界の166か国、会員総数1,219,532人、31,936クラブ(2004年6月現在)から構成される国際的組織(国際ロータリー)に発展しました。この事業、つまり一世紀にわたるロータリアンの奉仕の実績とロータリーの成長と拡大を祝うと共に、これを礎石として奉仕の第二世紀に着手することを自ら祝おうというのが、「ロータリーを祝おう」の提唱です。

このロータリーの進化と躍進は、優れた指導者たちの力のみによってもたらされたものではなく、ロータリアンすべての参加によって始めてできたものであることを、各ロータリアンは自覚し誇りとすべきです。

善意の奉仕団体が百年間存続しているのは何故か、私たちはその原因を抽出し認識して、来るべき百年間の行動の指針としなければなりません。ロータリーの成功の原因は、エステスR I会長によれば、「ロータリーが正しい行いをしてきたから、またロータリーの奉仕が社会から求められてきたからです。そして、それは親睦と奉仕の心を培うロータリー・クラブの毎週例会と、ロータリーの国際性に基づいている」のです。

菅生浩三R I直前理事は、さらにふえんして、ロータリーが百年間にわたり発展と充実を持続してきたのは、「(1)ロータリーは他人のことを真剣に考え、他人のために誠実に尽くすところに自らの幸せがあると信じて生きるというサービスの理念を、精神的な核心としているところにある。(2)ロータリーは職業の持つ意味を正しく認識し、その倫理基準を高め、自己の職業行為を良質化する職業活動を、サービスの理念を実践する基本的な行動としている。(3)会員の親睦と奉仕を一体として把握して活性化することにより、独特の効率的な行動原理を確立している。(4)クラブを原点とし、さらに地区と国際ロータリーの組織を積み重ねて、全体として合理的かつ効率的な人の組織を構成している。(5)組織の全般にわたり、指導者の順次交代を継続するシステムを構築している。……」からです。

ところで、「あなたはなぜ今もロータリアンなのですか？」と質問されたことがありませんか。私は「ロータリー・クラブは(1)『善意』を共通項として集った心優しい人たちの集まりだから、(2)異業種の優れた人びととの交友によって、人間的深まりが得られるように思うので、(3)国際性があり、世界的交流の機会が得られるので」と答えています。

ロータリー運動は、人間の「善意」を信じ「思いやり」を足場にした、人間を愛し尊ぶ人作りにより、「住みよい社会、平和な世界」を目指している個人々々の心が主体となった草の根運動なのです。ロータリーは人間の生きかたなのです。このことが今日のロータリーの生成発展を招いたのだと私は思うのです。